（仮称）北部学校給食センターの整備計画（案）について

【現状と課題】

(1) 施設の老朽化
　建物の老朽化や設備の劣化が進んでおり、修繕費等の負担が今後ますます増加することが懸念されます。

(2) 児童生徒数と調理能力
　単独調理場である鹿屋東中学校、寿北小学校においては、児童生徒数の増加に伴い、調理能力を超えている状況です。

(3) 食の安全確保
　① 衛生管理基準への適合
　　衛生管理基準に合致するよう工夫して運用していますが、最適な環境づくりが求められています。
　② アレルギー除去食等の対応
　　アレルギー除去食の専用調理室が必要不可欠となっています。

　③ 物資（食材）の安全確認
　　物資購入計画に基づき、地元産食材を購入し、食の安全確認について取り組んでいますが、より一層の地産地消や食の安全確認を行う必要があります。

【学校給食施設整備方針】

「鹿屋市学校給食共同調理場整備実施計画書」（平成 20 年策定）の方向性に基づき、施設の老朽化や衛生管理基準等に対応するため、（仮称）北部学校給食センターの開設を目指します。

（１）安全・安心でおいしい学校給食
①安全で安心できる給食の提供
②地産地消による給食食材の提供
③よりおいしい給食の提供
④保護者等への情報発信

（２）安定した学校給食
①新たな共同調理場の整備
②学校の受配施設の整備
③物資購入システムの構築

（３）食育のさらなる充実
①栄養バランスのとれた豊かな学校給食での食育
②望ましい食習慣を形成する食育
③多様な教育効果のある食育

（４）効率的な運営
①センター化による運営
②民間委託の導入

【施設整備概要】

(1) 建設予定地：学校跡地及び市有地の活用
(2) 敷 地 面 積：約 6,000 ㎡
(3) 施 設 規 模
　① 共同調理場
　　延床面積：約 2,000 ㎡　調理能力は約４,000 食／日
　　構造：鉄骨造１階建
　　所要室：検収室、準備室、下処理室、調理室
　　洗浄室、コンテナ室、事務室など
　② 配送車専用車庫
　　延床面積：約 200 ㎡　　配送車７台程度
(4) 概算事業費：約 13 億円
(5) 財源対策
　① 国庫補助金［学校給食施設整備事業（文部科学省）］
　② 合併特例債
　③ 公民連携事業手法（ＰＦＩ事業等）を活用

【配食数の推移】

	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42
北部学校給食センター	3,780	3,791	3,803	3,814	3,826	3,774	3,723	3,672	3,621	3,569	3,550
南部学校給食センター	5,930	5,870	5,807	5,744	5,684	5,596	5,511	5,423	5,340	5,255	5,215
吾平学校給食センター	757	744	730	717	703	685	668	650	633	616	605
総配食数	10,467	10,405	10,340	10,275	10,213	10,055	9,902	9,745	9,594	9,440	9,370

（参考:鹿屋市児童生徒数予測調査結果）

【既存施設の取扱い方針及びスケジュール】

既存施設の取扱い

項目	建築年	H28	H29	H30	H31	H32
輝北学校給食センター	昭和52年	→	→	→	→	廃　止
串良学校給食センター	昭和55年	→	→	→	→	廃　止
吾平学校給食センター	平成10年	→	→	→	→	当面稼働 →
寿北小学校学校給食施設	昭和57年	→	→	→	→	廃　止
鹿屋東中学校学校給食施設	昭和61年	→	→	→	→	廃　止
野里小学校学校給食施設	平成11年	→	→	→	→	廃　止
西原小学校学校給食施設	平成12年	→	→	→	→	廃　止

北部学校給食センター

項目	H28	H29	H30	H31	H32
公民連携事業手法調査	→				
用地選定・事業者選定等	→	→	→		
本体工事等				→	→ 供用開始 ９ 月